



## 第4章

# 施策の展開

### 基本目標 1

### ライフステージに応じた生涯スポーツの推進と機会の創出

#### (1) スポーツに親しむきっかけづくりの提供

市民アンケート調査などから、潜在的なスポーツニーズがうかがえながらも、「参加するきっかけがないから」という理由で運動・スポーツに参加しない人が多く、参加するきっかけづくりが重要となっており、本市においても、多様なニーズに対し、スポーツをする習慣を普及させるための情報発信を行うなど、スポーツに親しむきっかけとなるよう情報発信に取り組んでいます。

今後も、市民がその生涯を通じて、気軽に楽しんでスポーツができる、スポーツについて学べる機会の提供や情報発信を行い、また、地元の選手や団体の活動状況などを、市民に紹介・PRすることにより、選手のやる気を高めるとともに、市民のスポーツ機運を盛り上げます。

#### 方向性

- 積極的に多様なメディアを通し情報を発信していきます。
- 市民参加の拡大を図るため、教室内容の周知活動に努めます。
- 市民のニーズを捉え、スポーツを行える機会の提供に努めます。

事業名	事業内容
1 スポーツ情報の効果的な発信	スポーツ関連情報の集約や、webサイトの充実などによって、イベントや教室への参加を希望する層に効果的な発信を行っていきます。
2 多様な人に対応したスポーツ習慣のきっかけづくり	未就学児、児童、生徒、成人、子育て層、高齢者、障がい者など多様な人を対象として、効果的な情報発信などを行い、自発的にスポーツをする習慣を身につけられるよう普及促進に努めます。

## (2) ライフステージに応じたスポーツの推進

本市では、幼児から高齢者まで各層にわたり、運動不足やストレス解消・体づくり・技能向上を目指して、あるいは友達や仲間との交流・家族とのふれあいの場として、だれもが気軽に参加できる多種多様なスポーツ教室やイベントを展開しています。

今後も、継続的にスポーツに取り組むことで健康の保持増進を図ることができるよう、それぞれの興味・関心に応じて積極的にスポーツ活動に取り組むことができる機会を提供するなど、スポーツの大切さを啓発するとともに、スポーツ活動への参加機会を提供し、健康の保持増進を図ります。

### 方向性

- 健康意識の向上に向けた健康づくりに関する事業との連携を充実させます。
- 短時間でできる運動の周知を行います。
- 年齢や趣向など様々な方を対象としたイベントや教室の実施を行います。

事業名	事業内容
1 生涯スポーツイベントの充実	現在行われている「みんなでスポーツ」「下総・江戸川ツーデーマーチ」などのイベントや市民スポーツ教室、スポーツ推進委員地区活動などについて、情報発信や活動内容を充実させていくことで、参加者の増加を図ります。
2 健康増進イベントの推進	市民の健康意識の向上を図るために、体力測定などを行うイベントの実施や、栄養指導など健康に関するアドバイスなどができる体制の構築を検討します。
3 高齢者向けのスポーツ教室の充実	健康スポーツ教室などの既存の教室の実施数増加、場所や指導者の確保、市川みんなで体操の地域拡大を行っていきます。 また、市川市公認スポーツ指導者の地域活動の活躍の場として連携できるよう検討を図ります。

### ○主なスポーツに関するイベント ※平成28年度

下総江戸川ツーデーマーチ／みんなでスポーツ／元旦マラソン大会／夢の教室  
市川エンジョイスports／ファミリーデイキャンプ／I SG国府台スーパーコラボ／  
I SG塩浜スポーツフェスタ／I SG塩浜わくわくスポーツデー／  
ラグビーフェスティバル／障がい者軽スポーツ教室／健康スポーツ教室／  
市民スポーツ教室 など

### (3) 子どもの体力向上と体育の充実

本市では、子どもたちに向けたスポーツ教室の実施やコミュニティクラブ事業において、ハイキング、ウォークラリー、相撲、グラウンドゴルフ教室等を展開しているほか、「あそび」をキーワードにした多様な体験活動を実施しています。

今後も、親子でできるスポーツ活動を実施するなど、スポーツの楽しさや大切さを伝える機会を提供していきます。

また、学校体育の充実を図るとともに、友だちといろいろな運動が体験できる機会を提供し、子どもの体力の向上を図ります。

#### 方向性

- 子どもがいろいろな運動を行うことができる機会を提供します。

事業名	事業内容
1 青少年向けのスポーツ教室の充実	市で既に実施している市民スポーツ教室やコミュニティクラブ事業について、市民のニーズの把握や総合型地域スポーツクラブとの連携などによって、事業の充実を図ります。

### (4) 障がいのある人のスポーツ推進

障がいのある人にとってのスポーツは、残存機能の維持向上や二次的な疾病等の防止や改善、健康の維持増進という側面だけでなく、社会参加の促進に寄与するという大きな役割があり、本市でも市内の障がいのある人を対象に、軽スポーツ等を行う障がい者軽スポーツ教室を実施しています。

障がいのある人同士の交流や体力増強を目的として、障がい者スポーツイベントを実施するなど、障がいのある人が自主的かつ積極的にスポーツ活動に取り組むことができる機会を提供するとともに、障がい者スポーツに関する指導者の育成や教室開催などの推進を図ります。

#### 方向性

- 障がい者のスポーツを体験する機会を提供します。
- 障がい者スポーツに関する情報発信の充実を進めます。

事業名	事業内容
1 障がい者スポーツの推進	障がい者のスポーツイベントや軽スポーツなどを体験する教室を開催します。障がい者と健常者が一緒になった取り組みへ展開することも検討するとともに、webサイトを充実させる等情報発信を進め、障がい者のスポーツ機会の充実を図ります。また、障がい者の視点に立った指導者の育成の推進を図ります。

## 基本目標 2

## スポーツをする空間・場所の確保、充実

### (1) 公共スポーツ施設の整備

本市では、野球場、サッカー場、テニスコート、体育館など様々なスポーツ施設整備しており、市北東部においては、テニスコートなどスポーツ施設が不足している状況でしたが、平成 26 年に市川市北東部スポーツタウン基本構想を策定し、平成 28 年度から北市川運動公園の整備を進めています。

また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会キャンプ地招致に向け、バリアフリー等の施設整備を進めていくことが求められています。

今後も、市民に快適なスポーツ環境を提供するために、施設の種類や稼働状況、及び老朽化の進捗状況を把握し、また市民のニーズに合った施設配置の状況を把握分析します。

スポーツ環境の整備充実を図っていくために、老朽化した既存施設や設備については、関連する計画との整合性を図りながら、優先順位を決めて、効果的な改修計画を作成していきます。また、市民のニーズに対して本市に新設や増設が必要となるスポーツ施設については、施設の適正量を踏まえ、全体的な調整を行いながら、整備方針の検討を進めます。

### 方向性

- 北市川運動公園の開園とともに、スポーツセンターの施設率改善に向けた検討を行います。
- 関連計画との整合を図りながら、老朽化した施設について、リニューアルや廃止等を含めた計画を検討していきます。
- 交通アクセスの利便性の向上を図る検討を行います。
- スポーツを観戦する場の整備や機会の確保を検討します。

事業名	事業内容
<p>1 スポーツ施設の新設、再整備 (継続的事業～中期的事業)</p>	<p>○新規スポーツ施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市川市北東部スポーツタウン基本構想に基づき、既存の市民プールの方向性の検討及び関連整備などと整合性を図り、新規施設の整備を目指します。</li> <li>・市民のニーズに対応し、新規施設整備や既存施設の活用を検討を行います。</li> </ul> <p>○国府台公園周辺</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国府台公園周辺の整備については、スポーツセンターの機能を補完していくことを目的とし、市川市北東部スポーツタウン基本構想との連携を図り検討していきます。</li> <li>・スポーツセンターについては、施設や設備改修、備品類の充実を踏まえ「安全・安心」な施設として整備を進めていきます。また、施設率の改善に向けた整備を進めるとともに、施設の機能性向上、環境美化を進めます。</li> <li>・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、国や県との連携を図り、必要に応じた対応を検討いたします。</li> </ul> <p>○塩浜市民体育館・信篤市民体育館・市川市市民プール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設や設備改修、備品類の充実を踏まえ「安全・安心」な施設として整備を進めていきます。また、施設の機能性向上、環境美化を進めます。</li> <li>・市川市北東部スポーツタウン基本構想に基づき、市民プール運営の方向性を検討していきます。</li> <li>・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、国や県との連携を図り、必要に応じた対応を検討いたします。</li> </ul> <p>○公園内等スポーツ施設のリニューアル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地の公園等に点在するスポーツ施設について、計画的な改修を目指していきます。</li> </ul> <p>○いちかわ市民キャンプ場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験学習ゾーンとして再整備することを目指しながら、既存の施設の「安全・安心」を重視した再整備の計画を検討いたします。</li> </ul> <p>○福栄スポーツ広場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催や女子ソフトボール世界選手権大会に向けて、国や県との連携を図り、施設のバリアフリー化など必要に応じた対応を検討いたします。</li> </ul>
<p>2 地域空間の利用・活用 (継続的事業～中期的事業)</p>	<p>○スポーツ広場等の用地の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民有地を借り受けて使用しているスポーツ広場等を将来的にも利用できるように、地権者と調整協議し、用地の保持に努めるとともに、既存施設の有効的な活用を検討いたします。</li> </ul> <p>○国分川調節池上部活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代間の交流が深められるようイベントの実施や、自然に囲まれながら散策・ウォーキングできる空間としての活用を進めます。</li> </ul>

## (2) 利用可能な施設、空間の有効活用

本市では、現在市内 55 校において、体育館、運動場、プールの開放等を、市内の小中学校、義務教育学校及び特別支援学校で行っており、平成 27 年度には文化活動の利用を含めて、利用延べ人数は約 1,714 千人となっています。

また、こうした学校開放等を用いて、市が委嘱する市川市スポーツ推進委員が、市内 13 の地区において平日夜や休日に軽スポーツ等を行う地区活動を実施しています。

市民のニーズを踏まえ、未利用地等を活用し、市民がより身近な場所で気軽にスポーツを楽しめるように、身近なスポーツ環境の整備、充実を図るとともに、地域の学校体育施設の活用を効率的に行えるよう、学校体育施設開故事業の運営について検討します。

また、将来的な公共スポーツ施設の適正な保有量を踏まえ、民間との連携を図り、施設の有効活用や効果的な運営体制等の検討を進めます。

### 方向性

- 学校施設開放について、登録団体の利用状況を精査し、有効に活用できるよう検討を進めます。
- 公共施設の効果的、効率的な運営体制の検討を進めます。
- 身近な場でウォーキングなどに取り組める場を確保します。

事業名	事業内容
1 学校施設の有効活用	学校施設開放のより効率的な運営を目指し、利用状況の見直しや有効的な活用など運用方法や管理体制の検討を行います。また、必要に応じて県立高校等の連携についても、検討していきます。
2 公共スポーツ施設の使いやすさの向上	公共スポーツ施設の運用面の改善を図ります。利用時間、予約方法、設備の備品などの改善を検討し、施設の使いやすさを向上させていきます。東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、国や県との連携を図り、必要に応じた対応を検討いたします。
3 大学や企業のスポーツ施設との連携	大学や企業のスポーツ施設について、施設概要や利用実態を把握し、効果的な施設利用の拡大を図るとともに、包括協定を結んでいる大学との連携を進めます。また、施設の効果的、効率的な運営体制の検討を行います。
4 身近な空間や場所の有効活用	歩いて楽しいウォーキングコースの設定やマップの作成、軽スポーツ等ができる公共施設の空きスペースの探索など、身近な空間や場所の有効活用について検討します。また、気軽に立ち寄り、スポーツが実施できる施設の整備をや利用機会拡大のための情報発信を進めます。
5 子どもの居場所づくりの検討	公共施設や公園、広場などに、子どものためのスポーツ指導者の派遣やスポーツに関連するプログラムの提供などを体系的に行うことにより、子どもがスポーツを楽しめる場所を増やすことを検討します。
6 民間スポーツ施設との連携	民間スポーツ施設の利用促進を行うなど連携を図り、市民の健康増進を進めます。

## 基本目標 3

## スポーツ団体・クラブの育成

### (1) 総合型地域スポーツクラブの育成

本市では、平成 18 年に国府台地区、平成 19 年に塩浜地区で、総合型地域スポーツクラブが設立され、平成 29 年 1 月に市内 3 番目となる総合型地域スポーツクラブ「北市川スポーツクラブ」が設立されています。

市民のだれもがスポーツに親しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブの活動を支援します。

また、総合型地域スポーツクラブの認知度を高めるため、広報活動を強化します。

### 方向性

- 総合型地域スポーツクラブの周知を図ります。
- 総合型地域スポーツクラブの運営や指導者の育成を支援します。

事業名	事業内容
1 総合型地域スポーツクラブの育成	既存の総合型地域スポーツクラブでは、地域住民主体のクラブ運営をサポートし、地域・会員相互のコミュニケーションの活性化、会員数の増加、プログラムの充実・向上に向け支援をしていきます。
2 総合型地域スポーツクラブの設立	新規クラブ設立に向け、準備を進めるとともに、新規設立クラブが、クラブとして自立し、自主運営できるよう多方面から支援を行います。また、個々のクラブの自主性を尊重しながら、各クラブ相互の関係を強化して、本市の総合型地域スポーツクラブの大きな特徴として育成していきます。
3 クラブ運営者や指導者の育成	クラブを運営していくスタッフの育成を図ります。またスポーツ指導者の資格保持者や市川市公認スポーツ指導者、スポーツ推進委員などから指導者の発掘を行うことや、クラブ会員を指導者として育成していきます。

## (2) 既存スポーツ団体・クラブの活性化

本市には、様々な種目の、対象者やニーズにあった、多くのスポーツ団体・クラブが存在しています。

既存スポーツ団体・既設立クラブに対し、より多くの市民が参加できるよう、必要に応じてクラブ運営に関する指導・助言を行います。

また、スポーツクラブ・団体の活動内容などについて、市民にPRします。

### 方向性

- スポーツ団体・クラブとの協力体制の充実を図ります。
- スポーツ団体・クラブを初めとした地域の団体、取り組みの支援を進めます。

事業名	事業内容
1 総合型地域スポーツクラブとの連携	総合型地域スポーツクラブと既存スポーツ団体・クラブを連携させ、総合型地域スポーツクラブの充実を目指します。
2 競技大会の充実、参加の推進	市川市体育協会と各加盟団体による市民体育大会の充実を進める他、県民体育大会等の競技大会への参加を促進します。
3 活動拠点の確保の支援	公共スポーツ施設の整備、学校施設開放の有効活用、施設の情報提供等により、活動拠点の確保を支援していきます。
4 部活動と地域の連携	競技レベル向上のために、学校の部活動において、競技レベルの高い学校の指導者や生徒を指導者として地域のクラブに派遣し交流を推進します。 また、学校の推薦を受けた地域の指導者を外部指導者として仰ぐ体制を継続していきます。



## 基本目標 4

## スポーツを支える人材の育成・確保

### (1) スポーツ指導者の育成と確保

現在市では、市民全般、高齢者、障がい者、小中学生など、様々な方を対象としたスポーツ教室があり、多くの指導者が活躍しています。

また、市のスポーツ振興と競技力向上及び、生涯スポーツ社会の実現を目指し、指導活動の促進と指導体制を確立するため、「市川市公認スポーツ指導者制度」を制定し、養成講習会を実施しており、平成 28 年度までの 10 年間で 343 名が受講し、289 名を市公認スポーツ指導者として認定しています。

それぞれのスポーツ団体が主体的に指導者の育成・確保に取り組めるように、支援するとともにスポーツ団体と連携して、新たな指導者の育成・確保に努めていきます。

また、各ボランティア団体と連携や企業の地域貢献としてのボランティア活動も活用しながら、スポーツボランティアの確保に努めます。

### 方向性

- 市川市公認スポーツ指導者制度やスポーツ推進委員についての周知を図ります。
- 市民の要望に対し適切な指導者を派遣するなど、活躍の場を増やしていきます。
- 十分な資質と能力を備えたスポーツ指導者を育成します。

事業名	事業内容
1 市川市公認スポーツ指導者制度の推進	「市川市公認スポーツ指導者制度」を本市の基本的なスポーツ指導者の資格とし、既存スポーツ指導者や新たな人材に資格取得のPRを行い、スポーツ指導者の発掘・育成を行います。
2 活躍の場の確保	スポーツ指導者が、総合型地域スポーツクラブ、学校の課外活動、市のスポーツイベント、教室といった様々なスポーツ振興の場に適切に派遣されるように、指導者の派遣制度を整備するとともにその情報発信を進めていきます。
3 生涯スポーツ指導者の育成	だれもが気軽に楽しめる生涯スポーツ、新たなスポーツ種目や軽スポーツなど推進のために、様々な対象者に対応した指導者育成研修会の開催を推進します。
4 総合型地域スポーツクラブ中核スタッフの育成	総合型地域スポーツクラブの立ち上げや運営には、経営(マネジメント)や連絡調整(コーディネーション)の能力を持った人材が必要となるため積極的にクラブコーディネーターに関する養成講習会等への参加を促すなど、計画的に発掘・養成を進めていきます。
5 スポーツボランティアの発掘・育成・確保	総合型地域スポーツクラブのスタッフやイベント・スポーツ教室の開催には、多くのボランティアとなる人が必要となります。定期的に講習会を行うなど、市民の意識向上を図り、スポーツボランティアの発掘・育成・確保を促進していきます。

## 基本目標 5

## スポーツの情報の収集・提供

### (1) スポーツ情報の集約、充実

現在市では、スポーツ情報の発信として、インターネットからスポーツ施設の概要の閲覧や、スポーツ施設の予約を行うことができます。

スポーツ施設の予約は、各登録者や団体がテニスコートや野球場、体育館などの施設をインターネットや市内に点在する公共施設の情報端末から 24 時間予約が可能となっています。

今後は、市民がよりスポーツイベントの情報を収集しやすくするため、広報紙や市ホームページにより、スポーツイベントの情報を提供するとともに、より利便性を高めるホームページの改善に取り組みます。

また、Web 検索などによって、スポーツ施設の情報やイベント情報などが誰にでもすぐ分かるようにしていきます。

### 方向性

- 積極的に多様なメディアを通し情報を発信していきます。
- 関連各課と連携を図り、ホームページの案内における情報の一元化や集約を行います。
- 健康づくりや初心者向けのスポーツ教室に関する幅広い情報提供を行います。

事業名	事業内容
1 スポーツ関連情報の集約・web サイトの充実	Web サイトの一元化や充実を図り集約した情報を提供していきます。 高齢者、青少年、障がい者、子育て支援など関連部署の情報／スポーツ関係団体の概要と活動予定／各体育施設の利用状況／各競技の試合結果／年間行事予定／生涯スポーツ活動やレクリエーション活動への参加と呼びかけ／スポーツ相談／スポーツ指導者

## (2) スポーツや健康の相談窓口の充実

スポーツの相談体制として、各種スポーツ教室・体育行事等の指導者などがその役割を担っていますが、相談内容が特定の種目やスポーツに限定されているとともに、このような相談の場が市民に十分に周知されていない現状にあります。

医師会や保健センターなどの各種保健医療関係機関・団体と連携し、医事・栄養相談活動を行うなど、健康づくり・体力づくりに関する相談窓口の充実に努めます。

### 方向性

- スポーツや健康の相談窓口の充実・連携を図ります。

事業名	事業内容
1 相談窓口の充実	スポーツ、健康、介護予防などスポーツ活動やスポーツを通じた健康づくりに関する市民の様々な相談に対応するため、スポーツ相談の役割を担っている人材、関連部署と連携し、相談窓口の充実を図ります。
2 運動療法や運動処方への展開	市内の医師会と連携をとり病後の運動療法（リハビリ）や、各個人の要望に沿った運動処方の作成などを検討していきます。

## 基本目標6 スポーツ競技力の強化

### (1) 競技スポーツにふれる機会の提供と活動支援

現在市では、小中学生を対象に、サッカー、卓球等の海外遠征が行われており、こうしたスポーツを通じた交流は、市内の児童・生徒の国際性を高めることにつながり、スポーツ振興及び国際競技力の向上が期待されます。

トップレベルの試合や大会などを誘致、開催し、競技スポーツの充実を図るとともに、市民のスポーツへの関心や意欲を高めます。

### 方向性

- 小中学校体育連盟と連携し選手の育成・競技力の向上に努めます。
- 市体育協会、種目別競技団体等と連携して強化体制を確立し競技水準の向上に努めます。

事業名	事業内容
1 国内外のスポーツ交流の推進	小中学生を対象に、サッカー、卓球等の海外遠征を行います。青少年の競技力の強化、見識の広がりを目的としており、今後も継続し支援していきます。

## (2) 競技力強化体制の構築

競技力の向上については、体育協会加盟団体が自らの団体の指導の他に学校で指導を行い、選手の育成・強化に努めるとともに、各種競技の市民スポーツ教室の開催により、小中学生の育成、選手発掘につなげています。

また、指導者の養成においても、スポーツ指導者の概要を取り扱う講義だけでなく、トレーニング論やスポーツに関する医学的知識に関する科目を設けたトレーニング方法の講習を行うなど、専門的な部分も取り扱った講習会を実施しています。

今後は更に、小学生・中学生に着目した育成強化に取り組むとともに、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の出場を目指しているアスリートに対して支援するなど、アスリートの育成や支援に積極的に取り組んでいきます。

### 方向性

- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組みと合わせて競技力強化体制の検討を行います。
- 学校、企業や、地域スポーツクラブまた各競技団体を総括する体育協会と連携し、小中学生の育成、選手発掘・競技力の向上に努めます。

事業名	事業内容
1 優れた素質を有する選手（ジュニア選手）の発掘・育成	各競技団体が中・長期的な観点に立って、選手として適正のある者の早期発見と継続的な育成のため、指導体制の向上など総合的な計画を検討します。また、ジュニア期(小中学生)から良質の環境の中で一貫した指導が行われるよう努めます。
2 指導者の養成・確保とスポーツ医・科学の推進	指導者の高齢化や、質的、量的にも指導者が不足しており、市公認スポーツ指導者養成講習会などを通じて指導者の養成・確保に務めます。 また、競技力の向上を目指すために、選手のトレーニングやコーチングにスポーツ医・科学の知識を取り込んだ、より専門的な指導者の養成・確保に努めます。
3 スポーツ拠点施設の整備・充実	市民に高いレベルの競技スポーツを目の当たりに提供するため公式的な大会が開催できる総合的な運動施設の整備・充実を検討します。
4 スポーツ関係団体等の整備・強化	スポーツ振興の中核である体育協会の指導・強化体制を整備するとともに、強化主体である競技団体と学校・地域・企業が連携して選手の育成・強化に努めます。